

乙訓 DREAM フェスタ



会員募集

CONTENTS

乙訓DREAMフェスタ 京都ブロックアカデミー事業 地域紹介

九月十六日（日）向日町競輪第四駐車場にて、九月例会、その後に乙訓DREAMフェスティバルが開催されました。九月例会では、後に開催する乙訓DREAMフェスティバルに向けて乙訓青年会議所全体で行う事業として、メンバー全員に担当する事業や役割を市民主導型社会の実現に繋げていくという意識を統一することを目的に開催致しました。その後の乙訓DREAMフェスティバルでは、毎月開催している「乙訓まちづくり実行委員会」に登録して頂いている地域諸団体から二十一団体の方々と行政の協力のもと「思いで作ろう。乙訓で！乙訓DREAMフェスティバル二〇一八」と題して盛大に開催させて頂きました。

乙州DREAMフエヌガ九月例会

会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動を行つてゐる二十歳から四十歳までの青年経済人の集まりであります。地域の産業を担う青年経済人とのネットワークを広げ、乙訓の未来を創るために夢を語り合ふ仲間として、と共に活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。ご興味ござります方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五・九五七・一二三〇）までご連絡下さい。お待ちしております。

情熱伝播委員会員拡大報告!! (今年度入会者数12名
会員拡大報告!! (正会員数 68名)

今年度25名の会員拡大を目指して熱く活動してまいります!!

第九回乙訓JC説明会
のご案内

一〇月一日（月）「第九回乙訓JC説明会」を開催致します。乙訓青年会議所の事業や活動をご紹介させて頂き、また具体的な活動内容をお伝えできるようになンバーとのディスカッションもございま
す。

【日時】一〇月一日（月）
ご興味ございます方はお気軽にお問い合わせください

第九回乙訓JC説明会
のご案内

ご案内



【担当委員会】情熱伝播委員会
【会場】長岡市中央生涯学習センター
六階創作室一
十九時三〇分～二〇時三〇分

今月の乙訓イベント 【竹の径 かぐやの夕べ】



竹筒に入れた水にろうそくを浮かべた約四千五百本の「竹行灯（あんどん）」を、第六向陽小学校周辺から竹の径、さらに洛西竹林公園まで並べて明かりをともします。

また、剪画の紙行灯や手づくり竹行灯なども使用し、夕闇の竹林を幻想的に彩ります。第六向陽小学校付近では、オープニングセレモニーや太鼓・琴・ジャズの演奏会を、洛西竹林公園周辺では、市民の方が作製された竹行灯のライトアップやキャンドル作品の展示を、そして寺戸大塚古墳では、かぐや姫が登場します。楽器の音色が漂う夕闇深まる竹林が、ろうそくの優しい灯りに照らされる、幻想的な開閉気をお楽しみください。

乙訓DREAMフェスタ・九月例会

京都ブロック協議会 アカデミー事業

(表面より)
手間取ったものの、本当にたくさんの願いを書いた風船が、解き放たれた瞬間は曇り空ではあったものの大変きれいな思い出に残るワンシーンになつたと思います。

正副メンバーや他の委員会メンバーも一週前の草刈から、前日の設営準備、当日の準備から運営、撤収作業に至るまでお手伝い頂き、本当に多くの方々に協力して頂きました。

来場者の方々には、感謝と来年も楽しみにしているという言葉を頂きました。この乙訓DREAMフェスタで市民、行政、地域諸団体とともに愛郷心を育める事業を創り上げ、市民主導型社会の実現に繋がる信頼関係を構築することができたと確信するとともに、次年度さらに良い事業へ繋げるために、しっかりと検証して引き継ぎたいと思っております。本当にありがとうございました。



乙訓地域紹介

ボーイスカウト 京都連盟



9月16日、乙訓DREAMフェスタの地域諸団体ブースにて公益社団法人ボーイスカウト京都連盟に出展して頂きました。
乙訓地域には向日第1団、長岡第2団、長岡第3団、長岡第4団の4団があります。今回の活動目的は「防災」であり、緊急時の炊飯、紙コップのけん玉、割りばしゴム鉄砲を体験でき、台風や地震等が多い昨今に備えた活動をされていました。

ボーイスカウトはみんなと仲良く遊ぶ。自然に親しむ。楽しみや喜びを分かち合うこと等を目的に、様々なことにチャレンジする小学1年生から2年生を対象とするビーパースカウト、目標は自分で考え自分のことは自分ですること。みんなでルールを作って仲良く遊ぶこと。そして自然や社会とふれあうこと。このような活動を通じ、自立心や創造力を養う小学3年から5年生を対象とするカブスカウト、キャンプやハイキング等、野外活動の中でリーダーシップや協調性、社会性等を育みます。また奉仕活動を積極的に行い、人のために役立つことの大切さを学ぶ小学6年生から中学3年生を対象とするボーイスカウト。また高校生になるとベンチャースカウトに、18歳から25歳まではローパースカウトとして活動されています。

大山崎のボコの会及び天王山にぎわい実行委員会のご紹介です。どちらの団体も地元で活動されている吉川理香さんが会長をされています。

ボコの会というのは、音楽療法で高齢者を元気にすることを目的とし、老人ホームなどの福祉施設で、大山崎近隣の小学生とともに高齢者の方々に笑顔と元気を与えると音楽イベントなどを開催されています。会長の吉川さんは自身が結婚されたときに、お義母さまが認知症を患い、育児よりも介護を優先せざるを得ない状況だったそうで、その経験から少しでも高齢者の方々に子供たちと一緒に元気を与えたかったらと思い、ボコの会を立ち上げられたそうです。実際に、ボコの会の子供たちはみんな元気で、常に笑顔でした。天王山にぎわい実行委員会は、毎年恒例の天王山ゆひ祭りを主催し、他にも家庭を両立しながら、力を合わせて、より天王山ににぎわいを与えることを目的とした委員会です。そして来たる11月4日には、「天王山ゆひ祭り」が開催されます。名前の由来の「ゆひ」とは、昔田植えや刈り入れの時に近隣の住民が協力して行なうことと言います。このお祭りも天王山周辺の住民が協力して天王山の標高270mを目指すプラレールを繋げよう！と言う大きな企画がある。近隣の方々にお譲り頂いたプラレールを繋げ270mのプラレールをみんなの力で走らせようといううでの、お祭りの後は近隣の保育所へ寄付される「ららん券」の発行など、様々な企画が予定されています。

ポコの会 天王山にぎわい実行委員会



ポコの会の会の子供たちはみんな元気で、常に笑顔でした。

天王山にぎわい実行委員会は、毎年恒例の天王山ゆひ祭りを主催し、他にも家庭を両立しながら、力を合わせて、より天王山ににぎわいを与えることを目的とした委員会です。そして来たる11月4日には、「天王山ゆひ祭り」が開催されます。名前の由来の「ゆひ」とは、昔田植えや刈り入れの時に近隣の住民が協力して行なうことと言います。このお祭りも天王山周辺の住民が協力して天王山の標高270mを目指すプラレールを繋げよう！と言う大きな企画がある。近隣の方々にお譲り頂いたプラレールを繋げ270mのプラレールをみんなの力で走らせようといううでの、お祭りの後は近隣の保育所へ寄付される「ららん券」の発行など、様々な企画が予定されています。

次回例会案内 十月例会(対内事業)



卒業生主催おもてなし食事会

9月2日(日)城陽市の友愛の丘にて、本年度の卒業生であります内海義潔君、大橋一隆君、神島真吾君、國府勝也君、谷口直満君、堤淳太君の六名が主催の「おもてなし食事会」が開催されました！
『おもてなし』をテーマに、卒業生の気遣い、気配りが行き届いており、美味しい食事を堪能させて頂きました！また、メンバー対抗ドッヂボール大会も開催され、遊びも本気の乙訓青年会議所メンバーチームが熱い激戦を繰り広げました。歓談やアクリティビティでの交流を通じて委員会メンバー同士はもちろんのこと、委員会を越えたメンバー同士、卒業予定者と正会員メンバーとのさらなる絆の構築の一助になりました。

【日時】 10月1日(木) 一八：三〇～二一：〇〇

(登録開始一八：〇〇)

【開催場所】 長岡京市中央生涯学習センター三階メインホール

【担当委員会】 広報涉外委員会

九月一日(土)ガレリアかめおかにて、公益社団法人日本青年会議所近畿地区京都ブロック協議会アカデミー事業が開催され、京都府内各地会員会議所から多くの皆様にご参加頂きました。

本事業担当の本気のJAYCEE育成委員会には、副会長として三浦靖君、副委員長として藤田真也君、委員として河合良忠君、西條利洋君、高橋英樹君、山城直也君が出向しております。

本年度のアカデミー事業は、あふれる“気概”(どんな困難にぶつかっても、強い信念と向上心をもって乗り越えていく心意気)と、どんな困難も受け止める“覚悟”をもち、真摯に最後までやり遂げる“根性”を備えた「本気のJAYCEE」となって頂くことを目的に開催しました。

第一部では、公益社団法人武生青年会議所卒業生の寺尾忍先輩(公益社団法人日本青年会議所近畿地区京都ブロック協議会本気のJAYCEE育成委員会副委員長)が出席をしていました。何のために青年会議所活動をしているのか「我々もJAYCEEである前に一経営者であり、一青年経済人です。青年会議所活動においての



会議所活動に対する意識を変革するきっかけを作つて頂きました。

第二部では、行動指針プログラムを行いました。本ブロックでは、基調講演を受けて「何のために青年会議所活動をしているのか」を考え、青年会議所活動を明確にすることが重要であります。講演では講師自らの経験と現状分析したロジックに照らし合わせ、参加者の青年経営者の器以上には大きくなりません。だからこそ、青年会議所活動に対する意識を変革するきっかけを作つて頂きました。

第三部では、行動指針プログラムを行いました。本ブロックでは、基調講演を受けて「何のために青年会議所活動をしているのか」を考え、青年会議所活動における目標設定を行い、行動指針(目標を達成するための行動計画)を設定します。参加者五名が一グループとなり、それぞれの行動指針を発表して頂きました。発表内容に対して、グループメンバーがともに想定される困難の指摘や、時には厳しい意見もありながら、自身が立てた行動指針を客観的に見直すグループディスカッションを行いました。そして、最後には目標達成に向かい最後まで諦めずやり切る覚悟をもつて頂きました。